



2面・3面 巡回公演だより／園からの声／
4面 制作だより／講習会報告
演習ワークショップ／事務局だより／活動記録 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org

幸せは天下のまわりもの

理事長 大場 隆志

新年、明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、本年も素敵な一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が報告されてから今年で四年が経過し、

直接的な影響は無くなってきたものの、児童演劇における日本の芸術文化活動は依然として厳しい状況が続いています。

私たちの人形劇巡回公演においても、公演数は回復傾向にあるものの、コロナ禍によって、少子化が想定よりも十年前倒しで進んでいる状況や、戦争における物価高騰の影響を受けて演劇活動は苦難

謹賀新年



令和六年 元旦

「たのきゅうのうわばみたいじ」の人形たち

が続いております。

しかし、予測不能な時代に、変化を機会に変え、新しい価値を創造していくことが公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会としての使命であると確信し、今年も新たな価値の創造に取り組んでまいります。

「我々は未来について、二つのことしか知らない。ひとつは、未来は知りえない、もうひとつは、未来は今日存在するものとも、今日予測するものとも違うということである。」とドラッカーは語っています。

未来について、一つは、自分で創ることである。成功してきた人、成功してきた企業は、すべて自らの未来を、自ら創ってきたということである。ドラッカー自身、マネジメントなるものが生まれることを予測する必要はなかった。自分で生み出したと言っています。

もう一つは、すでに起こったこととの帰結を見ることであり、そして行動に結びつけることであると言っています。これを彼は、「すでに起こった未来」と名付けています。あらゆる出来事が、その発生と、インパクトの顕在化とのあいだにタイムラグを持つということとです。

出生率の動きを見れば、少子高齢化の到来は誰の目にも見えたはずで、対策もとれたはずで、しかし、高齢化社会がいかなる社

会となり、いかなる政治や経済を持つことになるかを初めて論じたのはドラッカーでした。そして「未来を築くためにまず初めにすべきは、明日何をなすべきかを決めることではなく、明日を創るために今日何をなすべきかを決めることである」と「創造する経営者」という書籍の中で言っています。

そして、何を創造するのかということについて、最終的な目的は、すべての企業において同じで、「人の幸福」ということになりませう。

大きな目的やミッションにこだわり、絶えざる実験と学習を通して道を見つけるような仕事は決して楽ではありません。だから前向きな精神的エネルギーが必要です。しかし、この仕事は、それに見合う、やりがいと成長とつながりと共に感を伴うものであり、これが実は「幸せ」の正体であることが分かります。

紀元前4世紀のギリシャにおいて、アリストテレスは幸福論を論じていますが、幸福こそが「最高善」であり、それ自身が「完結した目的」であると、まさに幸せこそが、我々の目指す究極の目的であると、昔から考えられてきました。

しかし、古典や宗教の教えを見ても、「自分の幸せを追求せよ」という教えは不思議なほど聞きません。むしろ幸福論においても、宗教においても、強調されるのは「周囲を幸せにすること」です。

例えば、キリスト教の中心的な教えでは「汝の隣人を愛せ」と言っています。仏教では「慈悲」といい、儒教では「仁」と言います。それぞれニュアンスは異なります

が、いずれも、「自分がどうやって幸せになるか」ではなく、「自分から周囲へ」の幸せを働きかけています。日本のことわざにも同じように「情けは人の為ならず」という言葉があります。これらが示すものは、「あなたの幸せは、自分一人で生み出せない」、むしろ、「あなたの幸せは、自分が関わる周囲の人たちから与えられるものだ」ということです。

考えようによっては、「金は天下のまわりもの」ではなく、「幸せは天下のまわりもの」ということだと思えます。

幸せは、個人が自分だけで生み出すことはできません。経済活動と同じように集団の中で、人々との関わりの中で生まれる現象であるということとです。

幸せは、あなたが関わりあう周囲の人たちに与えることができるものであり、同時にあなたは、その人々から幸せをもらう。まさに、「幸せは天下のまわりもの」ということになりませう。

予測不能な時代に、変化を機会に変え、新しい価値を創造していくということの目的は、私たちが、やりがいと成長とつながりと共感をともなうものでなければなりません。

演劇を通じてのやりがいと成長、公益財団法人としての他団体との協力関係によるつながりと共感が、私たちの目指す道であると思えます。

今年、劇団すぎのこが誕生してから六十周年を迎えます。これからも、社会に必要とされる幸せを創造し、多くの皆様に提供してまいります。

巡回公演だより



新鮮で、部屋にいるのがもったいなくて、時間があれば外に出掛けていました。

今では劇団内の役割も増えたり、旅先の過ごし方も変わりました。そんな中で、ずっと変わらないものもあります。すぎのこに入団した時に立てた目標「観る人を引き込む人形劇を作る」です。

一つの人形劇が出来上がるまでには、多くの人の手がかかっています。みんなそれぞれ作品に込めた想いがあることで、観る人を引き込む人形劇になると思っています。

変わっていくことは沢山あるけれど、初心を忘れずに。自分が携わってきた人形劇が、みんなに喜んでもらえるなら嬉しいですね。

(石山 和佳)

たのきゅうのうわばみしたいじ

すぎのこの巡回公演は、作品によってその年のルートが決まっています。今年度のたのきゅう班は、一学期は北海道、二学期は九州、そして三学期は関東で上演します。私がこのルートを回るのは9年ぶり。久しぶりに訪れた土地で上演すると、新人だった頃を思い出します。

上演は経験のないことが沢山あって、先輩から吸収しようと必死でした。休みの日は旅先の景色が

おむすびころりん

班

あけましておめでとございます。今年すぎのこは60周年を迎えます。

私が入団したのは創立して15年後だと思えます。今思えば自分の不安に立ち向かっていただけでしたが、その中で劇団活動に興味を持ちました。入団し、若い仲間達の健全な姿をたくさん見てきました。そして、今でも子ども達への作品作りを続けております。感謝の念でいっぱいです。

す。

いくつも役を演じてきた私は、今回「おむすびころりん」のおじいさん役でも達から感動をいただいております。題名の意味「むすび」の大切さを主題に置いています。ですが、ひとつエピソードをお聞かせします。

すぎのこ創立者、小澤明は、私が新人の時のある日、稽古の合間のお昼におにぎりを差し出しました。自分が握ったすじこのおにぎりです。北海道生まれの自分が好きなおにぎりだと思えます。その日の食事のままならない私も含めて皆で稽古場に丸くなってご相伴にあずかりました。大きな手で握られた無骨な形のおにぎり。でもしよっぱいすじこの一粒一粒がご飯に包まれて、なんとなく良かったことを今でも忘れません。それもほんのつかの間、厳しい稽古です。ほんの些細な想い出ですが、私にとっては、大きなことへの積み重ねのひとコマです。私が続けられているのは、もしかするとあの時のおむすびがむすばれていたからかもしれません。人が働く姿を垣



おむすびころりん

■鼠ヶ岡保育園(山形県鶴岡市)

数年ぶりの人形劇。とても楽しく観させていただきました。初めての子がほとんどで、なかなかいい貴重な体験となりました。本当にステキな時間、ありがとうございました。良かったです。怖がって泣く子もいましたが(笑)それも久しぶりの光景で、「やっぱり いいなあ」と実感しました。

たのきゅうのうわばみしたいじ

■朝見保育園(大分県別府市)

「こねこと毛糸玉」は、ねこと毛糸の動きがとてもリアルで未満児から楽しんで観ていました。「たのきゅう」は背景や音楽、照明など変化していく中で人形の動きや声の表現などとても素晴らしかったです。次回作も楽しみにしています。

■安心院こども園(大分県宇佐市)

始まった瞬間からお話の世界に引き込まれ、終始笑いが絶えませんでした。終わってからも「おもしろかったね」と感想を友達と言い合ったり、お迎えに来たお家の人に嬉しそうに話している子どももいました。楽しい時間がありました。ありがとうございます。

■相愛保育園(宮崎県都城)

ストーリー的に小さい子は難しいかなと思っ

したが、殆どの子どもが集中し、見入っていました。ストーリーに合せてドキドキしたり、うわばみの変身に驚いたり。大きい音が苦手な子もいるのですが、人間の(プロの)声はさすがに心地よく、楽しんでいました。来年の作品を今から心待ちにしている子どもたちです。ありがとうございました。

金のお銀のお

■ふくがわこども園(山口県周南市)

2歳児から参加しましたが、話の内容もわかりやすく、楽しみなが観ていました。「金のお銀のお」で、場面が変わるところが、おもしろかったようです。ありがとうございました。

■城北保育園(岡山県津山市)

0歳児から年長児で大変楽しくみることができました。また、「金のお銀のお」の結末が、よくある絵本とはちがいで、ヤードが心を動かし、変化していくところまでを演じてくださったので、年中・年長の子どもの中には、心に響くものがあったようです。終わった後の役者さんや人形とのふれあいも喜んでいました。遠いところ毎年有難うございます。

3枚のおふだ

■若林幼稚園(宮城県仙台市)

先日はありがとうございました。「三まいのおふだ」のお話の場面で怖い場面もあるので、子どもたちの様子や反応はどうかと心配していた面もありましたが、やまのんのテーマソングだったり、こぼれずとの掛け合いが面白く、子どもたちも夢中になって見ていました。舞台構成なども勉強になりました。ありがとうございました。

もぐもぐ劇場

■埼玉県公立保育園

コロナ禍で子どもたちみんな



せいほうこども園(福岡県久留米市)からのプレゼント



邪気な笑顔、沢山の歓喜をみなさんからいただき充実した1年を過ごさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

昨年うかがった作品、インソップ寓話の中にある短いお話のひとつ「金のおの銀のおの」は、みなさんがよく知っているお話で、読み聞かせやすく、善悪が明確です。

お子さんの発達段階のひとつのプロセスとしての嘘。最初は現実と非現実

間見た気がします。

劇中、おじいさんがおむすびをもつて「今日も山へ仕事に行ってくるよ」と言う時、私にはおむすびが何か大切な料理だと思えています。

(榎本 均)



金のおの 銀のおの

班

昨年はマスク着用が日常になり、コロナに負けずに頑張る日々が続きましたが、公演先での先生方や園児さんの純真な微笑み、無

実(願望と空想)の区別がむずかしく嘘をついているという意識がありません。やがて、意図的に嘘がつけるようになり、自分や誰かを守るための嘘へと成長して、年長児になると、良い嘘、悪い嘘の区別ができるようになります。

誰にでも間違いや失敗もあります。嘘をつかないでお互いによく話し合い認め合うことが大切、そんな思いを込めた作品でした。

今年も「すぎのこ」らしさを忘れず!素敵な皆さん達との出逢いを楽しみに、そして大切にしていきたいと思えます。

(小杉 正繁)

三まいの おふだ

班

みなさんは自分が園児さんだった時の記憶はどのくらい残っていますか?



でも、忘れてしまっても良いのだと思います。きつとそれは新しい思い出が増えていくということ。なんだか小さい頃に聞いたなあ...、見た気がするなあ...、それで充分です。それでも、もしみなさんが少し大きくなって、また心のどこかで人形たちが「こんにちは!覚えてる?」とちょこっと顔を出した時は、ま

集まって集会をする経験も少なくなってしまう、今回、久しぶりに集まった人形劇でした。子ども

ますか?

先日、人形劇を観ていただいた先生と幼少期の思い出について話すことができました。私は、先生の名前・お泊まり会のカレー・運動会で踊った岡本真夜さんの「onorrow」・お遊戯会の天使の役などなど(笑)たくさん思い出が残っています。

みなさんはどんな思い出がありますか?人形劇のことは覚えていますが、人形劇を子どもたちに届ける時に思うのは、子どもたちの過ごす時間の隙間に、自分たちが人形劇を届けられることへの感謝と喜び。はじめて出会う子どもたちと一緒に笑顔を共有できるなんて、尊く、なんとも貴重な時間です。

私たちは、とても楽しんでよく見ており貴重な経験ができました。小さい子向けと、大きい子向けにお

た笑顔を浮かべてくれたら嬉しいなあと思えます。

写真の花束は、今年度閉園される園さんから「すぎのこ」さんに長年の感謝を込めて」といっていただきました。

でも、感謝をするのは私たちです。多くの子どもたちに出会わせていただき、本当に本当にありがとうございます!



話を選んでくださり良かったです。ありがとうございます。

今年8月、すぎのこは、創立60周年を迎えます。もぐもぐ劇場は、この「ねずみの嫁入り」、そして、1977年に創られた「かもとりごんべえ」(脚本・岡崎柁男 演出・人形・小澤 明 音楽・横山太郎)を、これからも演じ続けてまいります!今年も、よろしくお願いたします。

(下村 明)

もぐもぐ 劇場

班

(吉田 薫)

団扇太鼓の軽快なリズムで始まる人形劇「ねずみの嫁入り」(脚本・岡崎柁男 演出・小澤明 音楽・横山太郎 人形・伊草梨津子)この作品は、1976年、今から48年前に創られた作品です。

舞台には、色々な仕掛けがあり、太陽・雲・風・壁などの個性豊かな人形達が登場して、毎回、子ども達から拍手が起こり、楽しんで観ていただいています。



制作 だより

新年あけましておめでとうございませう。今年も甲辰の年です。

「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して増えていくという意味があるそうです。「辰」の字にも成長の意味があるらしいので、とても勢いのある年になりそうですね。

そんな年にすぎのこは60周年を迎えます。すぎのこは60年間、「どの子にもナマの舞台の感動を」というスローガンのもとに、全国各地の子どもたちに人形劇を届け

講習会報告

演育ワークショップ

10月12日・10月25日・11月29日・12月6日に埼玉県熊谷市にある、さゆり幼稚園において実施いたしました。

10月12日は、子どもたちに人気の「生き物の表現」を行い、それぞれ独創的に全身で、怪獣やダンゴムシを表現してくれました。25日は、12月のクリスマス会で行う劇の登場人物を取り入れ、おあそび演育の中から「だれが なにをした」を行いました。子どもたちは、自分の役が書いてあるカードが箱から出てくると、一段と張り切って表現してくれました。

11月・12月は、「顔の体操」「ものの表現」を行いました。今年1月は、演育ワークショップのまとめとして、おはなし演育から、「うらしまたろう」を行う

てまいりました。

時が経つのはあっという間で、私たちがようど入団した50周年のときの事は今でも昨日のように覚えていて感慨深いです。でもその間には様々な事があり、体制が変わったり、人の入れ替わりがあったり、新しい事業を始めたり...と、確かに10年経過しているんですね。

コロナ禍もやっと落ち着き、今年も色々な事に挑戦して飛躍していけたらと思います。次回は完全新作で60周年に相応しい作品になるよう力を入れて絶賛制作中です。ぜひ、楽しみにお待ちいただければと思います。

皆様、今年もどうぞよろしくお願いたします。(菅谷 香純)

予定です。一年間、演育ワークショップを実践してきた子どもたちが、どのような表現・コミュニケーションを行うのか、楽しみにしています。すぎのこは、おうたで演育 おあそび演育 おはなし演育 おにぎりよう演育の中に、沢山のワークショップがあります。対象年齢・実施回数などにより、ご相談いたしますので、お気軽にお問合せ下さい。

「演育」とは

①知識の教育・感性と心を育む 教育・健やかな体を育てる教育を総合し、演劇的方法の活用によるメソッドを演育と表現する。

②見る、聞く、感じる、考える、

話す、伝えるという人としての基礎能力を育むメソッドである。③多様な価値観がぶつかり合う時代に、人と異なる視点を持つことの大切さと、相手を理解することの大切さを育む。

(下村 明)



事務局 だより

孺恋研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現公益財団法人JKA）の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ孺恋研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。（利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません）

近くには、海拔1240m、周

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

- 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
- 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。

個人	年額	3,000円 以上
個人	年額	10,000円 以上
団体	年間	5日間以上
個人	年間	3日間以上
個人	年間	3日間以上
- 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費（技能提供予定書）を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
- 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
- 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
- 会費制賛助会員が一年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が一年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
- 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
- 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
- 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
- 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
- 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
- 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
- この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

また03-3984-2396 (事務局)



孺恋研修センター

活動記録(令和5年10月~12月)

- 10/12 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県熊谷市)
- 10/25 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県熊谷市)
- 11/29 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県熊谷市)
- 12/6 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県熊谷市)
- 12/27 第二学期全国巡回公演終了